



松田 朕 佳  
N  
E  
E  
E  
J  
Y  
J  
H  
M  
C  
R  
J

オブセオルタナティブ

おふせミュージアム・中島千波館には、「木造館」という一見すると普通の住居のように見える和室の展示空間がある。この夏「木造館」という場所と二人のアーティスト、松田朕佳と丸山玄太が出会い、「オブセオルタナティブ」として始動する。「オルタナティブ」。  
この言葉は「代用の」「もう一つの選択」といった意味があり、「既にあるものから新しいものを創造する」と捉えることもできる。でもそれはさておき、難しいことは考えず、とにかく玄関を上げて、中を見て、二人の表現に融れてみる。何もわからないかもしれない。でも何かを感じるかもしれない。そこにはぎつと何かがあるはずで、それをこの目で、心で、確かめるのだ。

おふせミュージアム・中島千波館




2013 8.24 sat 16:00 ~  
松田朕佳パフォーマンス+オープニングケータリングパーティー  
ロジェ・ア・ターブルによる料理とソフトドリンク  
会費お一人¥1,000

2013 8.24 sat - 9.9 sun

開館時間 9:00-5:00  
おふせミュージアム・中島千波館・木造館

O B U S E A L T E R N A T I V E  
**オブセオルタナティブ**

2013 AVEC

 <http://obusealternative.com>

TOPOS  
<http://toposnet.com>

artist  
Chika MATSUDA,  
Genta MARUYAMA  
art director  
Mami MIYASHITA / Curator  
coordinator  
Kazuya OSAME / Baeikakkei, TOPOS  
planner  
Tetsuya MACHIDA / Baeikakkei, TOPOS  
support  
OBUSE MUSEUM "NAKAJIMA CHINAMI PALACE"  
Yuichiro HANAI  
UAO / Akio UMEDA  
TOPOS

アメリカ在住の映像作家ジョナス・メカスがこういう事を言っています。「子供を叱りつけるとその一瞬で世界はやがてその影響で大きく変わってしまう」と。日々の微細な日常的動きとしての人間の行為には法則はないのでその効果は意識されずに柔らかな変化を繰り返しやがて出来事をふいに感知するのです。人間はその出来事を唐突に感じます。それが人間の本質であります。オルタナティブとはその微細な唐突に注意をはらい、観察分析を行いその波及したベクトルに対してミリ単位で検証と修復を行う事かもしれません。「この国の美術というものに対する何か」などではなく、人間の本質に焦点を充てる事が今回の試みです。場所に対して人間が実容を積極的に構築する、土地に対してオルタナティブな未知の世界への可能性を探る試みです。

子供を叱りつけることは世界を変えないという傲慢です。叱りつけられ項垂れた子供に対して丁寧な修復を行い前を向きなさいと倫理的な「対処」を試みる。人間はすべて子供かもしれません。修復的行為を継続的にゆっくりとそのベクトルを疑わず場所がほかのどこでもないかけがえのない場所になるよう祈りを込め、「わたしたち」が生きてゆくこと自体を提示します。

コーディネーター 納和也

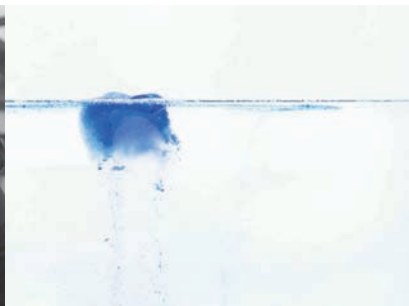
丸山玄太



丸山玄太 Genta MARUYAMA

genta@undergarden.com  
undergarden.com

- 1982 年生まれ
- 2004 ビジュアルエコー“ DOGS” / 玄照寺 / 小布施
- 2005 ビジュアルエコー“ 踊る鱈” / 玄照寺 / 小布施
- 2007 ビジュアルエコー“ クォーツ” / オブセコンテンポラリー / 小布施
- 2007 ビジュアルエコー“ メモリーズ機能としての映像” / オブセコンテンポラリー / 小布施
- 2011 Black & light / 軽井沢
- 2011 TOPOS 02 / ギャラリー花蔵・アートスペース FLAT FILE
- 2012 Genta Maruyama Photo 69 / time lapse - ice



松田朕佳 Chika MATSUDA

ckma2da@hotmail.com  
www.chikamatsuda.com

学歴

- 2010年 アメリカ合衆国アリゾナ大学芸術学科修士課程修了
- 2006年 ニュージールランド Nelson Marlborough Institute of Technology Visual Art 科卒業

アーティスト・イン・レジデンス

- 2013年 AGORA Winter Residency (ドイツ、ベルリン)
- 2012年 Prairie Center of the Arts (アメリカ、イリノイ州)
- 2011-2012年 Border Art Residency (アメリカ、ニューメキシコ州)
- 2009年 Process-Space Art Festival (ブルガリア、ボルチック)

個展

- 2013年 TOPOS Highland 2013 アリコ・ルージュ 長野
- 2012年 「Fragments of A long Sentence」 Sotoa Gallery (アメリカ、テキサス州)
- 2010年 「Melt into the Atmosphere」 Richard Levy Gallery (アメリカ、ニューメキシコ州)
- 2009年 「Here-Standing Still」 Graduate and Alumni Gallery (アメリカ、アリゾナ州)
- 「I cannot be at two places at the same time」 Graduate and Alumni Gallery (アメリカ、アリゾナ州)
- 2008年 「Static Motion」 Lionel Rombach Gallery (アメリカ、アリゾナ州)

主なグループ展

- 2013年 NIPAF アジアツアー
- 「Portrait In The Moving Image」 Internationell Konst Film Utställning (スウェーデン、ベトナム)
- 「Do you see the forest? I see trees.」 AGORA (ドイツ、ベルリン)
- 2012年 「The A.I.R Gallery 10th Biennial」 The A.I.R Gallery (アメリカ、ニューヨーク州ブルックリン)
- 「IRREVERSIBLE Magazine Winners Exhibition」 Wynwood Exhibition Center (アメリカ、フロリダ州マイアミ)
- 「Moving Image」 Prairie Center of the Arts (アメリカ、イリノイ州ピオリア)
- 「Videoholica 2012 International Video Festival」 Archeological Museum Verna Gallery Arhis (ブルガリア、ヴァーナ)
- 「NAGANO 新 CONCEPTUS」 志賀高原ロマン美術館 (長野県)
- 「まつしほ現代アートフェスティバル」 松代藩文武学校 (長野県)
- 「動きとしてのアート」 ヴィオ・パーク劇場 (長野県)
- 「Hands」 [.BOX] Videoart Project Space (イタリア、ミラノ)
- 「Videoholica Special Selection 2011」 VisualContainer (イタリア、ミラノ)
- 「New Mexico Showcase」 516 ARTS (アメリカ、ニューメキシコ州)
- 2011年 「Delight-becomes pictorial」 Kore Press (アメリカ、アリゾナ州)
- 「Nod Nod Wink Wink: Con-cep-tual Art in New Mex-ico and Its Influ-ences」 Harwood Museum of Art (アメリカ、ニューメキシコ州)
- 「メタモルフォーシス」 八十二文化財団ギャラリー 82 (長野県)

賞

- 2011年 「Videoholica Special Selection 2011」 International Video Festival (ブルガリア)
- 2009年 「First Place and Purchase Award」 Harwood Art Center, Crossing 2009 South West Graduate Student Competition (アメリカ)
- 2008年 「Outstanding Student Achievement in Contemporary Sculpture Award」 International Sculpture Center (アメリカ)
- 2007年 「第8回スパイラル・インデペンデント・クリエイターズ・フェスティバル審査員赤池学賞」 (東京)

オブセオルタナティブとは

小布施という場所を探索検証・記憶化するプロジェクトをオブセオルタナティブと名付け、美術作家 松田朕佳 (1983~)・映像クリエイター 丸山玄太 (1982~) 両氏によって展開します。

場所の解釈を作家たちが試行するトポスプロジェクトとして発想され、美術の社会的互惠性と機能を試行構築継続する企画展となります。

松田朕佳は事前にロケハンした小布施の磁性萌芽する場所 (花井裕一郎氏宅倉庫) の空間再生構築を伴った非公開の作品制作 (インスタレーション) を行い、丸山玄太はその進行及び場所の成立過程を自立作品として映画製作に似た手法で撮影出力制作します。ロケ及びインスタレーションの後、小布施での制作経緯をトータルにおぶせミュージアム・中島千波館併設木造館にてオブセオルタナティブとして再構成し、彼ら作家たちによる小布施物語を表裏します。2013年は池田満寿夫美術館でのマツシロオルタナティブと相互反応同期します。

計画者 / 町田哲也 (トポス統括)



 <http://obusealternative.com> 8/24~9/9

 <http://matsushiroalternative.com>

マツシロオルタナティブ 2013 AVEC  
東城信之介・たかはしひわ  
2013 8月3日(土) - 9月30日(月) 開催予定  
開館時間 9:00-5:00  
於: 池田満寿夫美術館

アートディレクター・宮下真美  
コーディネーター・納和也  
オープニングケータリング・安達浩平 (ロジェ・ア・ターブル)  
サポート: おぶせミュージアム・中島千波館・花井裕一郎・UAO (梅田版画工房)・トポス



THE OBUSE MUSEUM

TOPOS  
<http://toposnet.com>



おぶせミュージアム・中島千波館  
長野県上高井郡小布施町大字小布施 595  
Tel 026-247-6111 Fax 026-247-6112



オブセオルタナティブ